

	病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																								
診療科目	<p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。</p>	<p>15 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師の確保等による医療内容の充実を図ります。 また、標榜診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市と連携して、市内の医療ニーズの把握に努めます。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科(平成 29 年 4 月～)</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) 診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) 受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>皮膚科の常勤医師の確保により、皮膚科を追加標榜しました。</p> <p>形成外科の常勤医師が 1 名から 2 名となったことにより、レーザー外来を開設しました。</p>	<table border="1" data-bbox="1528 205 2053 268"> <tr> <td></td> <td>H29中間</td> <td>H28</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>診療科目数</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>※生駒市病院事業の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(平成 29 年 4 月 7 日施行)</p> <p><皮膚科></p> <ul style="list-style-type: none"> 診療開始日 4/7 診療内容 湿疹、じんましん、水虫等の一般的な皮膚病から、アトピー性皮膚炎や乾癬(かんせん)など慢性難治性で時に重症化するもの、皮膚がん、重症薬疹や重症感染症など生命に関わる皮膚疾患に幅広く対応します。 <p><その他></p> <table border="1" data-bbox="1528 640 2291 1171"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開始時期</th> <th>診察時間</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合診療科</td> <td>H27. 7～</td> <td>月～金 17:00～19:00</td> <td>912件</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(総合診療科とは、内科系、外科系を含めて総合的に診察するものです。)</td> </tr> <tr> <td>大学の腎泌尿器外科教授による特別外来</td> <td>H27. 9～</td> <td>月 2 回 PM (予約制)</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>がん治療相談外来</td> <td>H27. 10～</td> <td>週 1 回 AM</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ペイン(痛み)外来</td> <td>H27. 11～</td> <td>月 1 回 AM</td> <td>57件</td> </tr> <tr> <td>助産外来</td> <td>H28. 4～</td> <td>週 1 回 PM</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フットケア外来</td> <td>H28. 6～</td> <td>週 1 回 AM</td> <td>146件</td> </tr> <tr> <td>不妊外来(男性)</td> <td>H28. 7～</td> <td>月 1 回 PM (予約制)</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>まぶた外来</td> <td>H28. 12～</td> <td>週 1 回 AM (予約制)</td> <td>100件</td> </tr> <tr> <td>アンチエイジング外来</td> <td>H29. 4～</td> <td>週 1 回 PM</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>レーザー外来</td> <td>H29. 8～</td> <td>週 1 回 AM</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p><レーザー外来></p> <p>Q スイッチルビーレーザー※を採用した「あざ」「しみ」の治療を行っています。 ※メラニンの異常組織だけを破壊し、コラーゲンやヘモグロビンの正常皮膚組織にはダメージを極力与えないで治療するものです。</p>		H29中間	H28	増減	診療科目数	16	15	1	内容	開始時期	診察時間	件数	総合診療科	H27. 7～	月～金 17:00～19:00	912件	(総合診療科とは、内科系、外科系を含めて総合的に診察するものです。)				大学の腎泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	26件	がん治療相談外来	H27. 10～	週 1 回 AM		ペイン(痛み)外来	H27. 11～	月 1 回 AM	57件	助産外来	H28. 4～	週 1 回 PM		フットケア外来	H28. 6～	週 1 回 AM	146件	不妊外来(男性)	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	29件	まぶた外来	H28. 12～	週 1 回 AM (予約制)	100件	アンチエイジング外来	H29. 4～	週 1 回 PM	94件	レーザー外来	H29. 8～	週 1 回 AM	6件	<p>○皮膚科の標榜により、市外流出率の高いアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症について市立病院で治療できる体制ができています。</p> <p>○麻酔科のペイン外来では関節痛、腰痛、神経痛の痛みの治療、形成外科のまぶた外来では、まぶたが下垂して視野障害を生じる眼瞼下垂症の手術をするなど、専門外来により患者の生活の質(Quality of life)の向上に貢献している。</p> <p>○形成外科のフットケア外来では形成外科、循環器内科、腎臓泌尿器科、リハビリテーション科が連携し、糖尿病からくる足壊疽による切断を予防する体制が整えられている。</p> <p>○形成外科のレーザー外来が開始されたことにより、治療の幅が広がっている。</p>
		H29中間	H28	増減																																																									
診療科目数	16	15	1																																																										
内容	開始時期	診察時間	件数																																																										
総合診療科	H27. 7～	月～金 17:00～19:00	912件																																																										
(総合診療科とは、内科系、外科系を含めて総合的に診察するものです。)																																																													
大学の腎泌尿器外科教授による特別外来	H27. 9～	月 2 回 PM (予約制)	26件																																																										
がん治療相談外来	H27. 10～	週 1 回 AM																																																											
ペイン(痛み)外来	H27. 11～	月 1 回 AM	57件																																																										
助産外来	H28. 4～	週 1 回 PM																																																											
フットケア外来	H28. 6～	週 1 回 AM	146件																																																										
不妊外来(男性)	H28. 7～	月 1 回 PM (予約制)	29件																																																										
まぶた外来	H28. 12～	週 1 回 AM (予約制)	100件																																																										
アンチエイジング外来	H29. 4～	週 1 回 PM	94件																																																										
レーザー外来	H29. 8～	週 1 回 AM	6件																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																												
病床数	病床数 210 床	(平成 30 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(平成 29 年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 151 床 (達成率：72%)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実稼働可能病床数</td> <td>151</td> <td>146</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td>76</td> <td>76</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>53</td> <td>48</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H29中間	H28	増減	実稼働可能病床数	151	146	5	小児科	4	4	0	産婦人科	18	18	0	内科系	76	76	0	外科系	53	48	5	HCU	0	0	0	<p>○4階西病棟をレディース病棟として5床増床することにより、女性患者の増加に対応している。</p> <p>○内視鏡の手術が可能な外科の常勤医師を確保したことにより、外科と消化器内科の入院患者の増加を目指し、フルオープンに向けて準備を進めている。</p> <p>課題 HCUを稼働させるためには、平日は概ね常勤医師の当直体制ができているものの、土日祝については非常勤医師が当直しているため、土日祝についても常勤医師が当直する体制を整える必要がある。</p>
		H29中間	H28	増減																													
実稼働可能病床数	151	146	5																														
小児科	4	4	0																														
産婦人科	18	18	0																														
内科系	76	76	0																														
外科系	53	48	5																														
HCU	0	0	0																														
ICU 7床 小児科 20床 産婦人科 20床 内科系 79床 外科系 84床	小児科 5床 産婦人科 20床 内科系 87床 外科系 91床 HCU 7床	小児科 4床 産婦人科 18床 内科系 76床 外科系 53床	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 8 月 1 日からレディース病棟を 5 床増床しました。(4階西病棟) 平成 29 年 10 月 1 日から 3 階 ICU 室 (7 床) を除く 203 床を稼働する予定です。(5階東病棟：一般外科、消化器内科 52 床) 入院患者の集中治療については、4 階、5 階の病棟 (観察室) で行っています。 <p>< ICU (Intensive Care Unit) ></p> <ul style="list-style-type: none"> 集中治療室 専任の医師が常時 ICU 内に勤務していることが必要 <p>< HCU (High Care Unit) ></p> <ul style="list-style-type: none"> 準集中治療室 専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要 <p>1 日最大稼働病床数 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) 136 床</p> <p>許可病床 210 床のうち稼働可能病床数は 151 床でした。今年度フルオープンを目指します。</p>																														

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業計画 (平成 30 年 3 月 31 日)		平成 29 年度 中間報告 (平成 29 年 9 月 30 日現在)		平成 29 年度 中間報告の補足説明						取組の評価・課題	
人員体制	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数(外来 300 名、入院 140 名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。		常勤		常勤換算数		H29中間	H28	増減				<p>○健診センターのセンター長として内科の常勤医師を確保したことにより、検査当日に医師から検査結果の説明を受けられるなど、検診体制が充実している。</p> <p>○外科の常勤医師を増員したことにより、手術内容が充実している。</p> <p>○形成外科の常勤医師が 1 名増え、2 名体制となったことにより、レーザー外来の開設が可能となった。</p> <p>○皮膚科の常勤医師の確保により、皮膚科の追加標榜が可能となった。</p> <p>○消化器内科については、他科の医師が連携することで診療体制が確保できている。</p> <p>○リハビリテーション科については、各診療科の医師の指示に基づき理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のスタッフが実施することにより体制が確保できている。</p> <p>○救急科については、他の診療科の医師が連携することにより救急診療体制を確保できている。当直が可能な常勤医師を確保したことにより、平日は概ね常勤医師の当直体制ができています。土日祝については非常勤医師が当直している。</p> <p>○看護師については、患者数に必要な人数を随時確保できている。また、病棟のフルオープンに向けて看護師を増員している。</p> <p>○薬剤師、管理栄養士の各 1 名の人員増により、抗がん剤調製業務や栄養指導・栄養プラン業務が充実してきている。</p> <p>○入院患者の増加に伴い、各診療科からのリハビリ要請に対応するため、理学療法士が倍増している。</p> <p>課題 常勤医師の確保により、内科、外科、形成外科については常勤医師が 2 名以上の体制となっているものの、常勤医師がいない脳神経外科、小児科、常勤医師が 1 名体制の消化器内科、整形外科、産婦人科、麻酔科については、常勤医師を確保する取組を引き続き実施する必要がある。 リハビリテーション科については、平日は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のスタッフにより実施ができているものの、土日祝の稼働を目指すためには、作業療法士、言語聴覚士を確保する取組を引き続き実施する必要がある。</p>
							常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	
		内科	2 名	2 名	4.5 名	内科	2	4.5	1	3.2	1	1.3	
		消化器内科	2 名	2 名	1.1 名	消化器内科	1	1.1	1	1.2	0	△ 0.1	
		循環器内科	2 名	2 名	2.0 名	循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0	
		外科	3 名	3 名	3.0 名	外科	3	3.0	1	1.9	2	1.1	
		脳神経外科	2 名	2 名	0.3 名	脳神経外科	0	0.3	0	0.3	0	0.0	
		整形外科	2 名	2 名	1.0 名	整形外科	1	1.0	1	1.0	0	0.0	
		形成外科	2 名	2 名	2.0 名	形成外科	2	2.0	1	1.1	1	0.9	
		小児科	2 名	2 名	0.4 名	小児科	0	0.4	1	1.4	△ 1	△ 1.0	
	腎臓泌尿器科	2 名	2 名	2.4 名	腎臓泌尿器科	2	2.4	2	2.5	0	△ 0.1		
	産婦人科	2 名	2 名	1.6 名	産婦人科	1	1.6	1	1.3	0	0.3		
	リハビリテーション科	1 名	1 名	0.0 名	リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	放射線科	1 名	1 名	1.0 名	放射線科	1	1.0	1	1.0	0	0.0		
	救急科	1 名	1 名	0.0 名	救急科	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	麻酔科	2 名	2 名	1.6 名	麻酔科	1	1.6	2	2.0	△ 1	△ 0.4		
	血管外科	1 名	1 名	(2.0 名)	血管外科	(2)	(2.0)	(1)	(1.0)	1	1.0		
	計	27 名	27 名	22.9 名	計	18	22.9	14	18.9	4	4.0		
	計	27 名	27 名	22.9 名	計	18	22.9	14	18.9	4	4.0		
	外来部門	40 名	40 名	39.2 名	外来部門	35	39.2	28	32.2	7	7.0		
	入院部門	95 名	95 名	66.6 名	入院部門	63	66.6	50	52.8	13	13.8		
	内) 准看護師	5 名	5 名	5.0 名	内) 准看護師	5	5.0	5	5.0	0	0.0		
	内) 助産師	10 名	10 名	9.2 名	内) 助産師	8	9.2	6	7.2	2	2.0		
	内) 保健師	1 名	1 名	0.0 名	内) 保健師	0	0.0	1	1.0	△ 1	△ 1.0		
	計	135 名	135 名	105.8 名	計	98	105.8	78	85.0	20	20.8		
	計	135 名	135 名	105.8 名	計	98	105.8	78	85.0	20	20.8		
	薬剤師	8 名	8 名	8.7 名	薬剤師	8	8.7	7	7.8	1	0.9		
	理学療法士	3 名	3 名	6.0 名	理学療法士	6	6.0	3	3.0	3	3.0		
	作業療法士	2 名	2 名	1.0 名	作業療法士	1	1.0	1	1.0	0	0.0		
	言語聴覚士	2 名	2 名	1.0 名	言語聴覚士	1	1.0	1	1.0	0	0.0		
	放射線技師	6 名	6 名	6.0 名	放射線技師	6	6.0	7	7.0	△ 1	△ 1.0		
	検査技師	6 名	6 名	6.0 名	検査技師	6	6.0	6	6.0	0	0.0		
	栄養士	3 名	3 名	3.0 名	栄養士	3	3.0	2	2.0	1	1.0		
	看護助手	12 名	12 名	14.0 名	看護助手	13	14.0	10	11.0	3	3.0		
	臨床工学技士	3 名	3 名	3.0 名	臨床工学技士	3	3.0	3	3.0	0	0.0		
	事務職員等	35 名	35 名	40.1 名	事務職員等	37	40.1	35	38.2	2	1.9		
	計	242 名	242 名	217.5 名	計	84	88.8	75	80.0	9	8.8		
	計	242 名	242 名	217.5 名	計	84	88.8	75	80.0	9	8.8		
	計	242 名	242 名	217.5 名	計	200	217.5	167	183.9	33	33.6		
	計	242 名	242 名	217.5 名	計	200	217.5	167	183.9	33	33.6		
	○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行います。 医師事務作業補助者を外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。 (看護師、医療スタッフ等の確保) 引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。			○医療従事者の確保について (常勤医師の確保) グループ他病院からの人事異動の要請、病院ホームページ等による勤務希望者の募集等を行い、常勤医師を確保しました。 医師事務作業補助者を増員し外来等へ配置し、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。 (看護師、医療スタッフ等の確保) ・学生実習の受入 ・院内保育所の運営 ・再就職支援のための研修 ・時短勤務の導入等 ・研修制度の充実 新人看護職員研修 5/20 5 名参加、6/24 5 名参加 ・資格取得のための支援 看護補助者活用のための看護管理者研修、退院支援看護師養成研修、認知症対応力向上研修など			※2 名の内、1 名は循環器内科の医師が兼務 <常勤換算数> 常勤換算数 = 非常勤職員の勤務時間の合計 ÷ 常勤職員が勤務すべき時間 <常勤医師の確保> 勤務希望者の募集による確保 8 名 <平成 29 年 9 月 30 日現在の非常勤職員数> 医師 48 名、看護師 13 名、その他 6 名 <医師の業務軽減> ・医師事務作業補助者の増員 4 名から 6 名 (内科系 1 名、外科 1 名、整形外科 1 名、産婦人科 1 名、形成外科・小児科・皮膚科 1 名、フリー 1 名) <看護師、医療スタッフ等の確保対策> ・院内保育所の設置 利用スタッフ数 15 名 ・研修参加費用の補助 学会への出張旅費等 ・看護実習生の受入 25 名 <専門的な知識と技術を持った看護師> 認定看護管理者 1 名、皮膚・排泄ケア認定看護師 1 名、がん化学療法看護認定看護師 1 名、慢性腎臓病療養指導看護師 2 名、透析技術認定士 2 名、フットケア指導士 1 名(延べ人数) <専門的な知識と技術を持った薬剤師> 漢方薬・生薬認定薬剤師 1 名、外来がん治療認定薬剤師 1 名、認定薬剤師 1 名(延べ人数)						

	病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
患者数		<p>1 日平均患者数</p> <table border="1" data-bbox="608 205 1026 667"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>95.0 人</td><td>140.8 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>95.0 人</td><td>140.8 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>93.0 人</td><td>135.8 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>95.0 人</td><td>135.8 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>105.0 人</td><td>140.8 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>105.0 人</td><td>130.8 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>115.0 人</td><td>150.8 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>130.0 人</td><td>170.8 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>135.0 人</td><td>180.8 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>140.0 人</td><td>180.8 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>140.0 人</td><td>170.8 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>140.0 人</td><td>180.8 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>115.7 人</td><td>155.0 人</td></tr> </tbody> </table> <p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による広報活動の充実 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の内容の充実 ・患者への相談窓口(来院・電話)の充実 <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数の増加 ・病診連携懇話会の開催 		入院	外来	4月	95.0 人	140.8 人	5月	95.0 人	140.8 人	6月	93.0 人	135.8 人	7月	95.0 人	135.8 人	8月	105.0 人	140.8 人	9月	105.0 人	130.8 人	10月	115.0 人	150.8 人	11月	130.0 人	170.8 人	12月	135.0 人	180.8 人	1月	140.0 人	180.8 人	2月	140.0 人	170.8 人	3月	140.0 人	180.8 人	年間平均	115.7 人	155.0 人	<p>1 日平均患者数</p> <table border="1" data-bbox="1050 205 1469 478"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>102.9人</td><td>124.0人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>114.1人</td><td>146.7人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>125.3人</td><td>168.7人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>123.5人</td><td>158.8人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>100.6人</td><td>177.9人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>109.7人</td><td>176.4人</td></tr> <tr><td>上半期平均</td><td>112.7人</td><td>158.8人</td></tr> </tbody> </table> <p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を図りました。</p> <p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による広報活動の充実 ・Facebook による情報発信を開始 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設 ・医療講演会 25 講座 参加者 1,262 名 ・電話受付の専属職員を配置 <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 87 件 ・病診連携懇話会は 1 月に開催予定 		入院	外来	4月	102.9人	124.0人	5月	114.1人	146.7人	6月	125.3人	168.7人	7月	123.5人	158.8人	8月	100.6人	177.9人	9月	109.7人	176.4人	上半期平均	112.7人	158.8人	<p><入院></p> <table border="1" data-bbox="1561 205 2300 573"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29中間</th> <th colspan="2">H28中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3,164</td><td>17.3</td><td>4,827</td><td>26.4</td><td>△ 1,663</td><td>△ 9.1</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>792</td><td>4.3</td><td>1,319</td><td>7.2</td><td>△ 527</td><td>△ 2.9</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2,826</td><td>15.4</td><td>3,765</td><td>20.6</td><td>△ 939</td><td>△ 5.2</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3,155</td><td>17.3</td><td>1,443</td><td>7.9</td><td>1,712</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>5,507</td><td>30.1</td><td>1,821</td><td>10.0</td><td>3,686</td><td>20.1</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1,849</td><td>10.1</td><td>999</td><td>5.5</td><td>850</td><td>4.6</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>7</td><td>0.1</td><td>15</td><td>0.1</td><td>△ 8</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>664</td><td>3.6</td><td>765</td><td>4.2</td><td>△ 101</td><td>△ 0.6</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>494</td><td>2.7</td><td>549</td><td>3.0</td><td>△ 55</td><td>△ 0.3</td></tr> <tr><td>リハビ°リテーション科</td><td>0</td><td>0.0</td><td>129</td><td>0.7</td><td>△ 129</td><td>△ 0.7</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>2,166</td><td>11.8</td><td>0</td><td>0.0</td><td>2,166</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>計</td><td>20,624</td><td>112.7</td><td>15,632</td><td>85.4</td><td>4,992</td><td>27.3</td></tr> </tbody> </table> <p><外来></p> <table border="1" data-bbox="1561 646 2300 1161"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29中間</th> <th colspan="2">H28中間</th> <th colspan="2">増減</th> </tr> <tr> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> <th>延べ人数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>5,872</td><td>32.1</td><td>5,501</td><td>30.1</td><td>371</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>984</td><td>5.4</td><td>1,360</td><td>7.4</td><td>△ 376</td><td>△ 2.0</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2,639</td><td>14.4</td><td>1,840</td><td>10.1</td><td>799</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2,732</td><td>14.9</td><td>1,846</td><td>10.1</td><td>886</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>449</td><td>2.5</td><td>393</td><td>2.1</td><td>56</td><td>0.4</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>5,661</td><td>30.9</td><td>2,891</td><td>15.8</td><td>2,770</td><td>15.1</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2,675</td><td>14.6</td><td>1,737</td><td>9.5</td><td>938</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>364</td><td>2.0</td><td>495</td><td>2.7</td><td>△ 131</td><td>△ 0.7</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1,736</td><td>9.5</td><td>1,592</td><td>8.7</td><td>144</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1,615</td><td>8.8</td><td>1,547</td><td>8.5</td><td>68</td><td>0.3</td></tr> <tr><td>リハビ°リテーション科</td><td>11</td><td>0.1</td><td>27</td><td>0.1</td><td>△ 16</td><td>0.0</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>250</td><td>1.4</td><td>0</td><td>0.0</td><td>250</td><td>1.4</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>57</td><td>0.3</td><td>90</td><td>0.5</td><td>△ 33</td><td>△ 0.2</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>104</td><td>0.6</td><td>0</td><td>0.0</td><td>104</td><td>0.6</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>2,086</td><td>11.4</td><td>0</td><td>0.0</td><td>2,086</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>透析</td><td>970</td><td>5.3</td><td>534</td><td>2.9</td><td>436</td><td>2.4</td></tr> <tr><td>健診科・ドック</td><td>847</td><td>4.6</td><td>687</td><td>3.8</td><td>160</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>計</td><td>29,052</td><td>158.8</td><td>20,540</td><td>112.2</td><td>8,512</td><td>46.6</td></tr> </tbody> </table> <p>参考：達成率(上半期実績平均÷上半期計画平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院：112.7 人÷98.0 人=115.0% ・外来：158.8 人÷137.5 人=115.5% <p><Facebook の掲載例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開医療講座のお知らせ ・院長交代のお知らせ ・新病棟オープンのお知らせ ・ご意見箱への対応(病棟のデイルームに掛時計を設置) <p><情報発信モニターの掲載例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者への面会時間のお知らせ ・まぶた外来、予防接種等の案内 ・医療講演会の案内 ・ご意見箱の意見による改善事例 <p><医療講演会の内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんの早期発見について ・皮膚の「できもの」の外科治療・レーザー治療 ・ジェネリック医薬品、健康食品・サプリメントについて <p><地域の医療機関への情報提供等の内容例></p> <p>新任医師の紹介、追加標榜診療科の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など</p>		H29中間		H28中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	3,164	17.3	4,827	26.4	△ 1,663	△ 9.1	消化器内科	792	4.3	1,319	7.2	△ 527	△ 2.9	循環器内科	2,826	15.4	3,765	20.6	△ 939	△ 5.2	外科	3,155	17.3	1,443	7.9	1,712	9.4	整形外科	5,507	30.1	1,821	10.0	3,686	20.1	形成外科	1,849	10.1	999	5.5	850	4.6	小児科	7	0.1	15	0.1	△ 8	0.0	腎臓泌尿器科	664	3.6	765	4.2	△ 101	△ 0.6	産婦人科	494	2.7	549	3.0	△ 55	△ 0.3	リハビ°リテーション科	0	0.0	129	0.7	△ 129	△ 0.7	血管外科	2,166	11.8	0	0.0	2,166	11.8	計	20,624	112.7	15,632	85.4	4,992	27.3		H29中間		H28中間		増減		延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	内科	5,872	32.1	5,501	30.1	371	2.0	消化器内科	984	5.4	1,360	7.4	△ 376	△ 2.0	循環器内科	2,639	14.4	1,840	10.1	799	4.3	外科	2,732	14.9	1,846	10.1	886	4.8	脳神経外科	449	2.5	393	2.1	56	0.4	整形外科	5,661	30.9	2,891	15.8	2,770	15.1	形成外科	2,675	14.6	1,737	9.5	938	5.1	小児科	364	2.0	495	2.7	△ 131	△ 0.7	腎臓泌尿器科	1,736	9.5	1,592	8.7	144	0.8	産婦人科	1,615	8.8	1,547	8.5	68	0.3	リハビ°リテーション科	11	0.1	27	0.1	△ 16	0.0	放射線科	250	1.4	0	0.0	250	1.4	麻酔科	57	0.3	90	0.5	△ 33	△ 0.2	血管外科	104	0.6	0	0.0	104	0.6	皮膚科	2,086	11.4	0	0.0	2,086	11.4	透析	970	5.3	534	2.9	436	2.4	健診科・ドック	847	4.6	687	3.8	160	0.8	計	29,052	158.8	20,540	112.2	8,512	46.6	<p>○血管外科の常勤医師を確保したこと、外科、形成外科の常勤医師を増員したことにより、入院・外来患者数が増加している。</p> <p>○Facebook や病院内の情報発信モニターなど、市民への周知の取組が充実してきている。</p> <p>○外来患者アンケート調査結果から、来院理由の第一位が「医療講演会で知って」(39.7%)であり、効果的な医療講演会が開催できている。</p> <p>課題</p> <p>小児の二次救急をはじめ、小児二次医療を行うため、小児科の常勤医師を確保する必要がある。</p> <p>内科、消化器内科のさらなる患者数増を図るため、常勤医師を増やす必要がある。</p> <p>整形外科の患者ニーズ(待ち時間の解消、外来診察日の増)に対応するため、常勤医師の増員が必要である。</p>
		入院	外来																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4月	95.0 人	140.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5月	95.0 人	140.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6月	93.0 人	135.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7月	95.0 人	135.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8月	105.0 人	140.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9月	105.0 人	130.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10月	115.0 人	150.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11月	130.0 人	170.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
12月	135.0 人	180.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1月	140.0 人	180.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2月	140.0 人	170.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
3月	140.0 人	180.8 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
年間平均	115.7 人	155.0 人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	入院	外来																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4月	102.9人	124.0人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
5月	114.1人	146.7人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6月	125.3人	168.7人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7月	123.5人	158.8人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
8月	100.6人	177.9人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
9月	109.7人	176.4人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
上半期平均	112.7人	158.8人																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	H29中間		H28中間		増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	3,164	17.3	4,827	26.4	△ 1,663	△ 9.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
消化器内科	792	4.3	1,319	7.2	△ 527	△ 2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
循環器内科	2,826	15.4	3,765	20.6	△ 939	△ 5.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	3,155	17.3	1,443	7.9	1,712	9.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
整形外科	5,507	30.1	1,821	10.0	3,686	20.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
形成外科	1,849	10.1	999	5.5	850	4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
小児科	7	0.1	15	0.1	△ 8	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
腎臓泌尿器科	664	3.6	765	4.2	△ 101	△ 0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
産婦人科	494	2.7	549	3.0	△ 55	△ 0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
リハビ°リテーション科	0	0.0	129	0.7	△ 129	△ 0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
血管外科	2,166	11.8	0	0.0	2,166	11.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	20,624	112.7	15,632	85.4	4,992	27.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	H29中間		H28中間		増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
内科	5,872	32.1	5,501	30.1	371	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
消化器内科	984	5.4	1,360	7.4	△ 376	△ 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
循環器内科	2,639	14.4	1,840	10.1	799	4.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
外科	2,732	14.9	1,846	10.1	886	4.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
脳神経外科	449	2.5	393	2.1	56	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
整形外科	5,661	30.9	2,891	15.8	2,770	15.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
形成外科	2,675	14.6	1,737	9.5	938	5.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
小児科	364	2.0	495	2.7	△ 131	△ 0.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
腎臓泌尿器科	1,736	9.5	1,592	8.7	144	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
産婦人科	1,615	8.8	1,547	8.5	68	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
リハビ°リテーション科	11	0.1	27	0.1	△ 16	0.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
放射線科	250	1.4	0	0.0	250	1.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
麻酔科	57	0.3	90	0.5	△ 33	△ 0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
血管外科	104	0.6	0	0.0	104	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
皮膚科	2,086	11.4	0	0.0	2,086	11.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
透析	970	5.3	534	2.9	436	2.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
健診科・ドック	847	4.6	687	3.8	160	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
計	29,052	158.8	20,540	112.2	8,512	46.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																												
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>基本方針 安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に積極的に取り組みます。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 900 件 ・分娩件数 120 件 ・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 (導入予定機器) ・整形外科（脊椎）手術用アドバンステーブル ・脳神経外科手術用電子顕微鏡等</p>	<p>患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療を目指し、最新の設備を配置し、患者にとって最適な治療・ケアを行いました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見に基づき、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、改善を行いました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数（全体） 577 件 ・分娩件数 43 件 ・産科交流会 7/8 21 組 67 名の家族が参加</p> <p>・医療機器等の整備 (導入機器) ・新病棟を開設するため、心電図モニターを増設 ・形成外科にレーザー機器を導入</p>	<p><科目別手術件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 210 2122 483"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>△ 7</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>35</td> <td>30</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>87</td> <td>54</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>109</td> <td>65</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>255</td> <td>211</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>腎臓泌尿器科</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>血管外科</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>577</td> <td>431</td> <td>146</td> </tr> </tbody> </table> <p>・主な外科手術例 結腸切除術、腹腔鏡下胆のう摘出術など ・主な整形外科手術例 骨折観血的手術、経皮的後方固定術など ・主な形成外科手術例 皮膚皮下腫瘍摘出術、眼瞼下垂術など</p> <p><腹腔鏡下手術></p> <table border="1" data-bbox="1567 745 2122 829"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15</td> <td>32</td> <td>△ 17</td> </tr> </tbody> </table> <p><ダ・ヴィンチ手術></p> <table border="1" data-bbox="1567 871 2122 955"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><分娩件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 997 2151 1197"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">県内</td> <td>市内</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>△ 11</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>△ 8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">県外</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>△ 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>43</td> <td>57</td> <td>△ 14</td> </tr> </tbody> </table> <p><助産制度の実績></p> <table border="1" data-bbox="1567 1239 2122 1323"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>△ 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市立病院は、児童福祉法第 36 条に規定する助産施設 ・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っている。通常の未熟児出産は市立病院で対応可能。 連携実績 奈良県総合医療センター 3 件 奈良県立医科大学附属病院 1 件</p>		H29中間	H28中間	増減	内科	3	10	△ 7	循環器内科	35	30	5	外科	87	54	33	整形外科	109	65	44	形成外科	255	211	44	腎臓泌尿器科	24	26	△ 2	産婦人科	41	35	6	血管外科	23	0	23	合計	577	431	146		H29中間	H28中間	増減	件数	15	32	△ 17		H29中間	H28中間	増減	件数	4	2	2			H29中間	H28中間	増減	県内	市内	29	40	△ 11	市外	5	2	3	計	34	42	△ 8	県外		9	15	△ 6	合計		43	57	△ 14		H29中間	H28中間	増減	件数	1	3	△ 2	<p>○外科、形成外科の常勤医師を確保したことにより、手術件数が増加している。 ○整形外科の手術件数が増加している。</p> <p>○心電図モニターの増設等、フルオープンへ向けた設備が整えられている。</p>
	H29中間	H28中間	増減																																																																																													
内科	3	10	△ 7																																																																																													
循環器内科	35	30	5																																																																																													
外科	87	54	33																																																																																													
整形外科	109	65	44																																																																																													
形成外科	255	211	44																																																																																													
腎臓泌尿器科	24	26	△ 2																																																																																													
産婦人科	41	35	6																																																																																													
血管外科	23	0	23																																																																																													
合計	577	431	146																																																																																													
	H29中間	H28中間	増減																																																																																													
件数	15	32	△ 17																																																																																													
	H29中間	H28中間	増減																																																																																													
件数	4	2	2																																																																																													
		H29中間	H28中間	増減																																																																																												
県内	市内	29	40	△ 11																																																																																												
	市外	5	2	3																																																																																												
	計	34	42	△ 8																																																																																												
県外		9	15	△ 6																																																																																												
合計		43	57	△ 14																																																																																												
	H29中間	H28中間	増減																																																																																													
件数	1	3	△ 2																																																																																													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
	<p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート調査実施 <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、ホームページで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形成外科 「難治性潰瘍の治療のための PRP 療法」の提供を実施しています。 ・消化器内科 「水浸法」という無痛の大腸内視鏡検査を実施しています。 ・腎臓泌尿器科 増加が顕著な前立腺がんの早期診断・治療を目指して腫瘍マーカー (PSA)によるスクリーニングや前立腺生検を積極的に実施しています。 ・人工透析室 バスキュラーアクセスセンターを開設し、血液透析導入にあたっての血管アクセスの作成、血管エコーやシャント造影検査、カテーテルによる血管拡張術・血栓除去術などを駆使したバスキュラーアクセスの管理に取り組んでいます。 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート調査実施 (H29.5) <p>患者満足度 (総合評価の評点) 入院 80.6 点 (有効件数 102 件) 外来 79.3 点 (有効件数 407 件)</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p>	<p><難治性潰瘍の治療のための PRP (Platelet Rich Plasma:多血小板血漿 (たけっしょうばんけっしょう)) 療法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・難治性潰瘍: 治りにくい創傷のことであり、好発部位は下腿、足です。 ・PRP 療法: 難治性潰瘍において、治癒遅延を生じた局所に対して増殖因子を高濃度に作用させ、組織再生や創傷治癒の促進を促す再生医療の一つです。 <p><バスキュラーアクセス (シャント血管) ></p> <p>シャントとは、動脈と静脈をつなぎ合わせて直接動脈の血を静脈に流れるようにしたものです。 バスキュラーアクセスセンターでは、地域の透析実施診療所と連携して、透析患者のシャント閉塞治療を行っています。</p> <p><患者満足度></p> <p>以下の 5 段階の回答による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大変よい」 100 点 ・「よい」 75 点 ・「ふつう」 50 点 ・「悪い」 25 点 ・「非常に悪い」 0 点 <p><ご意見箱の対応例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟ダイルームに掛時計を設置 ・病棟の浴室に体重計を設置 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設し、発信内容を充実 	<p>○ご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができています。</p> <p>課題 ご意見箱の意見及び改善の取組について、ホームページでの公表等も検討する必要があります。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題								
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえで、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全ラウンド（毎月 1 回開催） ・医療安全勉強会 <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所、警察署等へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会 	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民の生命と健康を守る観点から、医療安全管理規程に基づき、医療安全管理委員会や院内感染対策委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有など、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会 6/12 67 名参加、6/19 63 名参加 <p>（院内感染対策について） 継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会 8/15 76 名参加、8/25 65 名参加 	<p><病院事業計画との対比></p> <table border="1" data-bbox="1567 193 2291 319"> <thead> <tr> <th>病院事業計画</th> <th>平成 29 年度中間報告</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リスクマネジメント委員会</td> <td>医療安全カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会</td> <td>医療安全管理委員会</td> </tr> <tr> <td>感染防止委員会</td> <td>院内感染対策委員会</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療安全管理委員会> 医療安全管理委員会は、委員長を副院長、副委員長を看護部長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。</p> <p><医療安全カンファレンス> 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。</p> <p><医療安全ラウンド> ICTラウンドと一体的に実施することになりました。</p> <p><安全管理マニュアル> 各部門に医療安全管理委員(リスクマネージャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用している。 (転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱など)</p> <p><医療安全勉強会> 6/12、6/19「チームステップ」 講師 市立病院 医師</p> <p><インシデント・アクシデントの改善事例> 内視鏡検査時に患者様の指輪が紛失した事例があった。 これに対し、貴金属類の取り外しは必ず薬剤投与前にご自身で外していただくことの徹底を行った。</p> <p><院内感染対策委員会（ICT）> 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討を行っています。</p> <p><ICT 合同カンファレンス> 近隣の徳洲会グループ病院と合同で、近隣地域の感染症発生状況や各種サーベイランス等の討議報告を行っています。</p> <p><ICT ラウンド（医療安全ラウンドと一体的に実施）> 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境（物品の配置等）を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動のことです。</p> <p><感染勉強会> 8/15、8/25「見て聞いて感じる感染対策」 講師 市立病院 看護師長</p>	病院事業計画	平成 29 年度中間報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会	<p>○安全管理マニュアルに基づき、医療安全の質管理のための具体的な PDCA サイクルを確立している。</p> <p>P 医療安全管理マニュアルの策定 D 院内でのインシデント(ヒヤリハット)事例などの報告・情報共有 C その原因分析、症例検討の実施 A 予防と再発防止策の検討と実施(手順の見直し、職員への周知・教育)</p> <p>○医療法に基づき、医療の安全を確保するための指針の策定、委員会の開催、従業者に対する研修などの取組が実施されている。</p> <p>課題 医療安全に関する取組等について、市民へ公開する情報や公開の方法等についても検討する必要がある。</p>
病院事業計画	平成 29 年度中間報告											
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス											
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会											
感染防止委員会	院内感染対策委員会											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組</p> <p>●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング（ACLS に相当する指定管理者のプログラム）の継続的实施（2 年に 1 回程度） ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施（年 2 回程度）</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>基本方針 地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 地域連携バス、退院支援チームの取組については、奈良県地域医療構想の方向性や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案しながら、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、グループ病院の事例等を参考に、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化します。</p> <p>・医療教育プログラム ・病診連携懇話会（再掲）</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献しました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等の増に取り組み、在宅患者等の増悪時の受け入れを行いました。 （平成 29 年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 58 施設・71 名 ・協力医療機関連携施設 43 施設</p> <p>・地域連携バスは未実施</p> <p>・退院支援チームは実施</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアルワーキンググループの委員として地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーが参加</p> <p>○開放型病床は未設置</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会を実施しました。また、地域の医療従事者にも参加を求め、医療教育プログラムを実施しました。</p> <p>・医療教育プログラム NCPR(新生児蘇生法)講習会 7/15 13 名参加 ALSO は 10 月に開催予定</p> <p>・病診連携懇話会は 1 月に開催予定（再掲）</p> <p>・消防本部救急隊との意見交換会 4/19、8/8 実施 救急搬送状況、転院搬送状況等</p>	<p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="1567 201 2113 268"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 58 施設の内、市内クリニックは 24 施設・29 名 全市内クリニック（86 施設）の 28%</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="1567 445 2113 512"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結している。</p> <p><退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会> 5/27 生駒市における「入退院調整マニュアルづくり」など</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会> 5/27 入退院調整マニュアル作成ワーキンググループの設置など</p> <p><開放型病床> 患者のかかりつけ医と病院の医師が、共同して患者の治療を行える病床のこと。地域の先生方と連携して患者の治療にあたり、よりレベルの高い治療を目指すものです。</p> <p><NCPR(新生児蘇生法)> 標準的な新生児蘇生法の理論と技術を習熟することにより、新生児の救命と重篤な障害の回避が期待されるものです。</p> <p><病診連携懇話会>（再掲） 医療連携登録医をはじめとした生駒市内の診療所の医師を対象とした症例検討会の実施、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などを行うことにより、医療連携の推進を図るものです。</p> <p><消防本部救急隊との意見交換例> ・市立病院の救急受入体制の確認 ・市立病院の医療教育プログラムの紹介 ・e-MATCH（奈良県 救急医療 管制支援システム事業）の運用の確認</p>		H29中間	H28	増減	施設数	58	53	5		H29中間	H28	増減	施設数	43	41	2	<p>○前年度と比較して、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数が増加している。在宅患者の増悪時の受入れなど、在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院の役割を果たすため、市立病院と地域の医療機関等との連携が進められている。</p> <p>○退院支援チームのほか、在宅医療・介護連携の推進のための入退院調整マニュアルづくりなど、市の事業に参加することにより、患者の在宅への移行支援の体制づくりを進めている。</p> <p>○生駒市医療介護連携ネットワーク協議会等、市の在宅医療・介護連携事業に参画することにより、市内の医療機関・介護事業所等のスタッフ間での「顔の見える」関係性づくりが進められている。</p> <p>課題 地域包括ケアシステムの実現に向けて、市立病院の果たすべき役割を検討していく必要がある。</p> <p>○NCPR などの教育プログラムに、院内外の医療従事者などが参加している。</p> <p>○消防本部救急隊との意見交換会により、市立病院の医師、看護師が相互理解を深め、情報共有が行われている。</p> <p>課題 新生児蘇生法の講習会は実施しているが、大人に対する蘇生法(TCLS:徳洲会二次救命処置法)などの救命講習会の実施についても検討する必要がある。</p>
	H29中間	H28	増減																	
施設数	58	53	5																	
	H29中間	H28	増減																	
施設数	43	41	2																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																				
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、引き続き医療機能等の情報提供等、入会審査に対応していきます。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約手続き等の簡略化を検討します。 ・オープン利用件数（年間） MRI 260 件 CT 80 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットを PR します。 (平成 30 年 3 月 31 日時点) ・医療連携登録医 60 施設 ・協力医療機関連携施設 60 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介します。 ・紹介率 45% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 2 名・事務職員 2 名）による、円滑な紹介・逆紹介体制を充実します。 専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、奈良県や生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の動向等を勘案し検討します。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約手続き等の簡略化を検討しました。</p> <p>・医療機器のオープン利用件数（4～9 月） MRI 129 件（全利用件数 1,029 件） CT 29 件（全利用件数 2,819 件） 内視鏡 8 件（全利用件数 674 件） エコー 9 件（全利用件数 1,926 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットを PR しました。 (平成 29 年 9 月 30 日時点) (再掲) ・医療連携登録医 58 施設・71 名 ・協力医療機関連携施設 43 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介を行いました。 ・紹介率 31.1% ・逆紹介率 5.0% ・地域（市内）医療機関の市立病院利用率 65.1%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーを 1 名増員しました。</p>	<p><医師会への入会> ・医師会への入会申し込みは平成 27 年 6 月末に行っており、同年 10 月に「継続審査」との回答。 ・平成 28 年 12 月に医師会からの要求書に回答、1 月面談。</p> <p><医療機器のオープン利用></p> <table border="1" data-bbox="1567 348 2065 512"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>129</td> <td>124</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>△ 4</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療連携登録医> (再掲)</p> <table border="1" data-bbox="1567 558 2101 630"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。 58 施設の内、市内クリニックは 24 施設・29 名 全市内クリニック（86 施設）の 28%</p> <p><協力医療機関連携施設> (再掲)</p> <table border="1" data-bbox="1567 798 2101 869"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結している。</p> <p><紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="1567 999 2267 1171"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>31.1</td> <td>31.5</td> <td>△ 0.4</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>5.0</td> <td>16.0</td> <td>△ 11.0</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>65.1</td> <td>67.1</td> <td>△ 2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率 (紹介初診患者数+初診救急患者数) ÷ 初診患者数 $(1,033+943) \div 6,347 = 31.1\%$ ・逆紹介率 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 $318 \div 6,347 = 5.0\%$ (参考：紹介元の医療機関に返した患者数 ÷ 紹介による入院患者数 20.1%) $32 \text{ 件} \div 159 \text{ 件}$ ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた医科医療機関数 ÷ 市内医科医療機関数 $56 \div 86 = 65.1\%$</p> <p><地域医療連携室> (平成 29 年 9 月 30 日) ・看護師 1 名 ・メディカルソーシャルワーカー 2 名 ・事務員 1 名</p>		H29中間	H28中間	増減	MRI	129	124	5	CT	29	33	△ 4	内視鏡	8	0	8	エコー	9	5	4		H29中間	H28	増減	施設数	58	53	5		H29中間	H28	増減	施設数	43	41	2		H29中間	H28	増減	紹介率	31.1	31.5	△ 0.4	逆紹介率	5.0	16.0	△ 11.0	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	65.1	67.1	△ 2.0	<p>課題 地域医療機関との病病・病診連携の推進、紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく。</p> <p>○前年度と比較して、医療機器のオープン利用件数が増加している。市立病院の医療機器を地域の診療所等が利用することにより、医療連携が推進されている。</p> <p>○前年度と比較して、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数が増加している。市立病院の医療連携登録医、協力医療機関連携施設として登録することで、市立病院と地域の医療機関等との連携が強化されている。</p> <p>課題 地域の診療所から紹介を受けた患者について、患者の意向により、市立病院で引き続き診察している場合がある。患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介していく必要がある。</p> <p>○メディカルソーシャルワーカーを増員したことにより、退院調整が今までより円滑になっている。</p> <p>課題 地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けて、西和医療圏地域医療介護連携推進協議会の動向を勘案し検討する必要がある。</p>
	H29中間	H28中間	増減																																																					
MRI	129	124	5																																																					
CT	29	33	△ 4																																																					
内視鏡	8	0	8																																																					
エコー	9	5	4																																																					
	H29中間	H28	増減																																																					
施設数	58	53	5																																																					
	H29中間	H28	増減																																																					
施設数	43	41	2																																																					
	H29中間	H28	増減																																																					
紹介率	31.1	31.5	△ 0.4																																																					
逆紹介率	5.0	16.0	△ 11.0																																																					
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	65.1	67.1	△ 2.0																																																					

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																																																																																																									
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 747 566 982"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数(1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>市内外科系・小児科二次輪番体制への参加</td> <td>外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回 夜間 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00～24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系	市内外科系・小児科二次輪番体制への参加	外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回	<p>基本方針 「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,000 件 救急応需率 90.0% <p>・消防本部救急隊との意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たします。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議等を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めます。 北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、産婦人科常勤医師の確保に努めます。 	<p>「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を継続するとともに、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に取り組みました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 943 件(市内 559 件、市外 384 件) 救急応需率 86.0% 救急告示病床 6 床 <p>・消防本部救急隊との意見交換会(再掲) 4/19、8/8 実施 救急搬送状況、転院搬送状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たしました。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に参加し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めました。 北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、産婦人科常勤医師の確保に努めました。 	<p><救急要請件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 201 2065 273"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,096</td> <td>1,014</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 315 2065 441"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>559</td> <td>449</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>384</td> <td>431</td> <td>△ 47</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>943</td> <td>880</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急応需率></p> <table border="1" data-bbox="1567 483 2279 554"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数÷救急要請件数</td> <td>86.0%</td> <td>86.8%</td> <td>△0.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p><ウォークイン患者受入件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 596 2065 680"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,057</td> <td>904</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>月平均</td> <td>176.2</td> <td>150.7</td> <td>25.5</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送件数></p> <table border="1" data-bbox="1567 722 2065 882"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>943</td> <td>880</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>県内転送</td> <td>19</td> <td>33</td> <td>△ 14</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>29</td> <td>38</td> <td>△ 9</td> </tr> </tbody> </table> <p><救急患者の転送率></p> <table border="1" data-bbox="1567 924 2065 1050"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内転送</td> <td>2.0%</td> <td>3.7%</td> <td>△1.7%</td> </tr> <tr> <td>県外転送</td> <td>1.1%</td> <td>0.6%</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>転送計</td> <td>3.1%</td> <td>4.3%</td> <td>△1.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(全時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1567 1092 2178 1218"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>67.8%</td> <td>74.1%</td> <td>△6.3%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>26.0%</td> <td>22.5%</td> <td>3.5%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>41.8%</td> <td>51.6%</td> <td>△9.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考：生駒市消防の救急搬送状況(当直時間帯)>※</p> <table border="1" data-bbox="1567 1260 2178 1386"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>64.5%</td> <td>70.7%</td> <td>△6.2%</td> </tr> <tr> <td>市立病院</td> <td>26.5%</td> <td>24.0%</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>その他病院</td> <td>38.0%</td> <td>46.7%</td> <td>△8.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市消防本部提供、速報値</p> <p><消防本部救急隊との意見交換例></p> <ul style="list-style-type: none"> 市立病院の救急受入体制の確認 市立病院の医療教育プログラムの紹介 e-MATCH(奈良県 救急医療 管制支援システム事業)の運用の確認 <p><市内輪番病院のバックアップ状況></p> <table border="1" data-bbox="1567 1671 2142 1734"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックアップ率</td> <td>50%</td> <td>59%</td> <td>△9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>計算式 市立病院受入件数÷市内等輪番病院当番日拒否件数(H29 中間：60 件÷119 件、H28 中間：70 件÷119 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/26 平成 29 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。 		H29中間	H28中間	増減	件数	1,096	1,014	82		H29中間	H28中間	増減	市内	559	449	110	市外	384	431	△ 47	計	943	880	63		H29中間	H28中間	増減	救急受入件数÷救急要請件数	86.0%	86.8%	△0.8%		H29中間	H28中間	増減	件数	1,057	904	153	月平均	176.2	150.7	25.5		H29中間	H28中間	増減	受入件数	943	880	63	県内転送	19	33	△ 14	県外転送	10	5	5	転送計	29	38	△ 9		H29中間	H28中間	増減	県内転送	2.0%	3.7%	△1.7%	県外転送	1.1%	0.6%	0.5%	転送計	3.1%	4.3%	△1.2%		H29中間	H28中間	増減	市内	67.8%	74.1%	△6.3%	市立病院	26.0%	22.5%	3.5%	その他病院	41.8%	51.6%	△9.8%		H29中間	H28中間	増減	市内	64.5%	70.7%	△6.2%	市立病院	26.5%	24.0%	2.5%	その他病院	38.0%	46.7%	△8.7%		H29中間	H28中間	増減	バックアップ率	50%	59%	△9%	<p>○救急応需率は微減しているものの、当直及びオンコールが可能な常勤医師を確保し、常勤医師の当直及びオンコール体制が整備されてきたことにより、救急受入件数、ウォークイン患者の受入件数が増加している。</p> <p>○当直及びオンコールが可能な常勤医師を確保し、常勤医師の当直及びオンコール体制が整備されてきたことにより、救急対応の能力が向上していることから、救急患者の転送件数及び転送率が減少傾向にある。</p> <p>○消防本部救急隊との意見交換会により、市立病院の医師、看護師が相互理解を深め、情報共有が行われている。(再掲)</p> <p>○市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップの役割を果たしている。</p> <p>課題 救急受入の実績を提示する等、輪番体制への参加に向けて引き続き関係機関と協議を行う必要がある。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																																																																																																																																											
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																																																																																																																																											
外科系	市内外科系・小児科二次輪番体制への参加	外科系 5回																																																																																																																																											
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																																																																																																																																											
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)																																																																																																																																											
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回																																																																																																																																											
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
件数	1,096	1,014	82																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
市内	559	449	110																																																																																																																																										
市外	384	431	△ 47																																																																																																																																										
計	943	880	63																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
救急受入件数÷救急要請件数	86.0%	86.8%	△0.8%																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
件数	1,057	904	153																																																																																																																																										
月平均	176.2	150.7	25.5																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
受入件数	943	880	63																																																																																																																																										
県内転送	19	33	△ 14																																																																																																																																										
県外転送	10	5	5																																																																																																																																										
転送計	29	38	△ 9																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
県内転送	2.0%	3.7%	△1.7%																																																																																																																																										
県外転送	1.1%	0.6%	0.5%																																																																																																																																										
転送計	3.1%	4.3%	△1.2%																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
市内	67.8%	74.1%	△6.3%																																																																																																																																										
市立病院	26.0%	22.5%	3.5%																																																																																																																																										
その他病院	41.8%	51.6%	△9.8%																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
市内	64.5%	70.7%	△6.2%																																																																																																																																										
市立病院	26.5%	24.0%	2.5%																																																																																																																																										
その他病院	38.0%	46.7%	△8.7%																																																																																																																																										
	H29中間	H28中間	増減																																																																																																																																										
バックアップ率	50%	59%	△9%																																																																																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとりま ず。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 338 581 737"> <thead> <tr> <th colspan="2">人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>	人員体制		通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(救急受入体制) ・医師 1 名ないし 2 名の当直 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しています。当直・オンコール体制の充実を図りました。</p> <p>(休日夜間救急受入体制) ・医師 1 名の当直 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p>	<p><医師のオンコール体制> 消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、整形外科、腎臓泌尿器科、産婦人科</p> <p>・脳神経外科については、県内の他病院との連携体制で対応 連携実績 奈良県総合医療センター 3 件 市立奈良病院 2 件 奈良県立医科大学附属病院 1 件 大阪医科大学附属病院 1 件 白庭病院 1 件 野崎徳洲会病院 1 件</p>	<p>○医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の 24 時間 365 日の救急受入体制が維持されている。当直が可能な常勤医師を確保したことにより、平日は概ね常勤医師の当直体制ができています。土日祝については非常勤医師が当直している。</p> <p>○当直及びオンコールが可能な外科の常勤医師を確保したことにより、休日夜間でも外科手術が可能な体制が整えられている。</p> <p>課題 病院事業計画に掲げる内科系・外科系医師各 1 名の当直体制がとれるよう、常勤医師を確保する必要がある。 特に、当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科の常勤医師を確保する必要がある。</p>
人員体制														
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制													
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直													
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置													
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直													
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="121 1003 581 1730"> <thead> <tr> <th colspan="2">対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	対応レベル		内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続した。また、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。</p>	<p>・当直時間帯での CT、MRI 検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績 CT 751 件 MRI 14 件 心臓カテーテル検査 0 件 内視鏡検査 9 件</p> <p>・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っている。通常の未熟児出産は市立病院で対応可能。(再掲) 連携実績 奈良県総合医療センター 3 件 奈良県立医科大学附属病院 1 件</p>	<p>○24 時間 365 日、病院事業計画に掲げる CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制が継続されている。</p> <p>○24 時間 365 日、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制が維持されている。</p>
対応レベル														
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)													
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)													
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可													
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>基本方針 小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。</p> <p>・稼働病床数は、4 床から個室 1 床を増やし、5 床とします。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、1 名は平成 30 年 1 月から着任予定、もう 1 名を求人中。</p> <p>・稼働病床数は 4 床</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加はできていない。</p>	<p>・小児科外来診療は、月～金までの間、非常勤医師 4 人による一診体制</p> <p>・7/26 平成 29 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席。(再掲)</p>	<p>○外来診療については、非常勤医師により実施できている。</p> <p>課題 入院医療及び小児救急を実施するためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。</p>																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>基本方針 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行います。</p> <p>・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</p> <p>・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・8/29 消防訓練 (消防設備の確認・初期消火訓練) なお、通報訓練・避難誘導訓練は、下半期に実施予定。</p> <p>・9/10 奈良県総合防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p><消防訓練> 訓練の実施により、消防設備の位置・内容等について実地確認をし、確実に初期消火が行える体制を整えることができた。 訓練参加者 21 人</p> <p><奈良県総合防災訓練> 生駒市を震源とする直下型地震による甚大な被害の発生を想定し、避難所等から病院に搬送された被災傷病者の医療救護訓練ができた。 訓練参加者 医師 1 人、看護師 1 人、助産師 1 人、事務員 2 人</p>	<p>○大規模災害時の医療救護の実地訓練を市内病院等とともにを行うことにより、医療救護体制の整備に努められている。</p>																																																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>基本方針 市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜拡充していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、発達障害など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市と共催で、講演会等を開催します。</p> <p>胃がん、乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施を検討します。</p> <p>・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施</p> <p>・市民健診 110 件 大腸がん検診 25 件 肝炎ウイルス検診 1,000 件 特定健診 550 件 一般健診 460 件 人間ドック・脳ドック 1,000 件 その他団体健診等</p> <p>・高齢者インフルエンザ予防接種自己負担金免除対象者 250 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 胃がん検診については、9 月 1 日から胃カメラ検診を実施できるようになりました。</p> <p>・医療講演会(再掲) 25 講座 参加者 1,262 名</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 47 件 胃がん検診 14 件 肝炎ウイルス検診 12 件 特定健診 427 件 一般健診 324 件 人間ドック・脳ドック 247 件 その他団体健診等 876 件</p> <p>・高齢者インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定</p>	<p><医療講演会></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>1,262</td> <td>1,065</td> <td>197</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療講演会の内容例(再掲) ・がんの早期発見について ・皮膚の「できもの」の外科治療・レーザー治療 ・ジェネリック医薬品、健康食品・サプリメントについて</p> <p><市民健診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29中間</th> <th>H28中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>47</td> <td>38</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>14</td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>特定健診※</td> <td>427</td> <td>368</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>324</td> <td>179</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>247</td> <td>165</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>876</td> <td>892</td> <td>△ 16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,947</td> <td>1,647</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※特定健診とは生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。</p>		H29中間	H28中間	増減	件数	25	23	2	参加者数	1,262	1,065	197		H29中間	H28中間	増減	大腸がん検診	47	38	9	胃がん検診	14		14	肝炎ウイルス検診	12	5	7	特定健診※	427	368	59	一般健診	324	179	145	人間ドック・脳ドック	247	165	82	その他団体健診等	876	892	△ 16	合計	1,947	1,647	300	<p>○市立病院の医師や薬剤師等による疾病予防に向けた医療講演会が定期的で開催されている。</p> <p>○外来患者アンケート調査結果から、来院理由の第一位が「医療講演会で知って」(39.7%)であり、効果的な医療講演会が開催できている。(再掲)</p> <p>○健診実績は、いずれも前年度と比較して増加傾向にある。</p> <p>○胃がん検診も実施することができ、市立病院の疾病予防機能の拡充が図れている。</p> <p>課題 乳がん、子宮頸がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備とともに関係団体等と協議を行い、引き続き適宜実施していくことが必要である。</p>
	H29中間	H28中間	増減																																																	
件数	25	23	2																																																	
参加者数	1,262	1,065	197																																																	
	H29中間	H28中間	増減																																																	
大腸がん検診	47	38	9																																																	
胃がん検診	14		14																																																	
肝炎ウイルス検診	12	5	7																																																	
特定健診※	427	368	59																																																	
一般健診	324	179	145																																																	
人間ドック・脳ドック	247	165	82																																																	
その他団体健診等	876	892	△ 16																																																	
合計	1,947	1,647	300																																																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業計画	平成 29 年度 中間報告	平成 29 年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>基本方針 市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。 ○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査(再掲) ・ご意見箱の内容に対する対応(再掲)</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について、広く広報します。 ・地域医療連携フェスタ ・市立病院ロビーコンサート</p>	<p>市立病院の運営状況等について、市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民参加による病院運営を行いました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催</p> <p>・入院・外来患者アンケート調査実施(H29.5)(再掲) 患者満足度(総合評価の評点) 入院 80.6 点(有効件数 102 件) 外来 79.3 点(有効件数 407 件)</p> <p>・ご意見箱の内容に対応(再掲) ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業を広く市民に周知し、実施しました。</p> <p>・健康フェスティバル 6/4 約 700 名参加</p> <p>・市立病院ロビーコンサート ムジークフェストなら 2017 6/11 約 140 名参加</p> <p>○市民ボランティア 市立病院 4 階中庭の植栽の手入れ等</p>	<p><生駒市立病院管理運営協議会> ・7/20 第 6 回会議開催 会議内容 平成 28 年度実施状況調査報告書(案)について</p> <p><患者満足度>(再掲) 以下の 5 段階の回答による。 ・「大変よい」 100 点 ・「よい」 75 点 ・「ふつう」 50 点 ・「悪い」 25 点 ・「非常に悪い」 0 点</p> <p><ご意見箱の対応例>(再掲) ・病棟デイルームに掛時計を設置 ・病棟の浴室に体重計を設置 ・1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設し、発信内容を充実</p> <p><健康フェスティバル(地域医療連携フェスタから名称変更)> ・市立病院と生駒市の共催 ・医療講演会(市内医療機関の医師 2 名、市立病院の医師 3 名) ・市内小学校ブラスバンド部によるコンサート ・病院スタッフによる琴、ピアノ演奏 ・健康チェックコーナー ・救命体験 ・薬剤師体験(お菓子を使った錠剤や散剤の分包体験等) ・医療機器体験(スーパーライザー※、電気メス、気管挿管、人工呼吸器など)等 ※スーパーライザーとは、近赤外線を照射することで血行を改善し、症状や痛みを緩和してくれる医療機器。</p> <p><市立病院ロビーコンサート> ・ムジークフェストなら 2017 ムジークフェストなら 2017(奈良の街が音楽であふれる 16 日間)の一環としてピアノやフルート等による名曲演奏を行いました。</p>	<p>○生駒市立病院管理運営協議会では、指定管理者から提出された前年度の事業報告について市が実施状況調査をした内容が報告されているほか、市民等の会員からの評価や課題等についての意見・提案を、直接、市長や院長に伝えることができる場となっている。さらには、次年度事業計画に反映する仕組みが整えられている。</p> <p>○ご意見箱の設置により、患者や利用者の声に耳を傾け、迅速に対応することで、市民満足度の向上につなげていく仕組みができています。(再掲)</p> <p>課題(再掲) ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、ホームページでの公表等も検討する必要がある。</p> <p>○健康フェスティバルは、健康増進に関する市民の知識と理解を深めるとともに、子ども達が医療職を目指すきっかけづくりの場を提供している。</p> <p>○ロビーコンサートは、市民へ癒しの場を提供するとともに、市立病院の入院患者のホスピタリティの向上にも寄与している。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>基本方針 引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスに取組みました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化に努めました。</p>		<p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>
			<p><院内保育所> 院内 7 階バンビ保育園 ・保育時間 日勤 8:00~17:30(365 日) 夜勤 16:00~ 翌日 10:00(週 2 回 火・金) ・保育園児 対象 生後 2 か月~10 歳 (医師・看護職員のお子さん) ・保育士 人員 常時 2 名以上 実績見込 ・保育児童数 一日平均 6 人 ・24 時間保育運営日数 21 日 ・休日保育運営日数 60 日</p>	

収支

(単位 千円)

平成29年度事業計画 (平成29年9月末)		平成29年度中間報告		計画と報告の差額	
医業収入	1,165,902	医業収入	1,339,690	医業収入	173,788
医業費用	1,377,475	医業費用	1,434,058	医業費用	56,583
医業利益	△ 211,573	医業利益	△ 94,368	医業利益	117,205
その他費用	18,999	その他費用	20,726	その他費用	1,727
医業外収益	6,781	医業外収益	12,597	医業外収益	5,816
医業外費用	3,120	医業外費用	3,824	医業外費用	704
経常利益	△ 226,911	経常利益	△ 106,321	経常利益	120,590